



発行者
 公益社団法人
 千葉県サッカー協会
 第4種委員会
 〒260-0013
 千葉市中央区中央3-9-16
 TEL：043-310-4888
 FAX：043-222-0355
<https://www.pcs.co.jp>

千葉県ケーブルテレビ杯 第39回 千葉県U-9サッカー選手権大会

第39回千葉県U-9サッカー選手権決勝大会が、11月10日（日）鎌ヶ谷市福太郎スタジアムにて行われました。大会参加228チームが5月からブロック予選を戦い、72チームが中央大会に進出し、勝ち上がった4チームが決勝大会に臨みました。

今大会運営に尽力された第2ブロックスタッフの皆様には感謝申し上げます。

優勝 長作FC



〈指導者コメント〉

選手たちがチーム活動を楽しむ中で、個の技術の向上と組織的なプレーの融合に取り組んできました。

サッカーの上達だけではなく、挨拶や荷物の置き方、交流チームやサッカー活動に関わる全ての方への感謝やリスペクトある行動は日頃から伝え続けています。

そのため、毎回の活動時に全力でプレーする選手が多く、強度が高い時間を過ごせることは本当に素晴らしいことだと思っています。

長作FC 兼子 敦貴



準優勝 柏レイソル A.A.TOR'82 イエロー



〈指導者コメント〉

試合において勝利に導くことも大切ですが、選手の成長やチームとしての成長も考えていました。

練習では、この先のカテゴリーが上がっていても通用する選手になれるように個の技術・個人戦術で相手をかかわすことやボールを奪われないといったところを伸ばすために1VS1を主に行っていました。

また、チーム力向上を図る上で選手それぞれの個性や考えを大切にしていました。

柏レイソル A.A.TOR'82 柴田 陽



写真提供：FANTASISTA

第3位 大和田FC



〈指導者コメント〉

どこのチームでもやっていることですが、特に止める、蹴る、運ぶ等の基本スキルの習得には力を入れており、ドリル形式の練習からより試合の状況下での練習になるように工夫しながら、ファーストタッチや体向きの重要性などを理解させつつ取り組んで来ました。

今大会での試合を重ねる毎に、チームとしてのまとまりであったり、前の試合での反省点を修正する能力であったり、選手達の成長や進化には目を見張るものがありました。

大和田FC 保坂 喜正



第3位 カナデル塩浜SC



〈指導者コメント〉

カナデル塩浜スポーツクラブは創部3年という若さを強みに、こだわりを持たないというところにこだわりを置き、日々子供達の成長、環境作りを行っております。

挑戦・冒険・追及の3つのワードをテーマに、自由度高くカナデルとしての時間を子供達と共有し、一生の友達を一人でも多くここで見つけてもらいたいと思ひながら日々活動しています。

カナデル塩浜SC 本川 渉



試合風景



審判団



ブロックだより BLOCK REP.

第2ブロック

第2ブロックの年間事業の一つ千葉県ケーブルテレビ杯第39回千葉県U-9サッカー選手権大会が、千葉県協会及び第4種委員会のご協力、ご支援のもと無事終了致しました。

野田、流山、松戸の3市地域FAで構成され、このような主管大会を通じてブロック役員が一同に介する大会でもあり、また、今年からブロック役員が大幅に代わりましたので、新たに加わった役員にとっても有意義な大会だったと思います。

これからも、このような主管大会やブロック大会を通じて第2ブロック活動を進めていきたいと思ひます。

第2ブロック委員 大山 勇



第2ブロック運営スタッフ

写真提供：FANTASISTA

ZOZOCUP

第39回千葉県U-10サッカー選手権大会

ZOZOCUP 第39回千葉県U-10サッカー選手権決勝大会が、11月23日（土・祝）にプリオベッカフィールド明海にて行われました。大会参加 259 チームが4月からブロック予選を戦い、72 チームが中央大会に進出し、勝ち上がった4チームが決勝大会に臨みました。
 今大会運営に尽力された第1ブロックスタッフの皆様には感謝申し上げます。

優勝 柏レイソル A.A.TOR'82 イエロー



〈指導者コメント〉

1月から県大会優勝を目標にトレーニングを続けてきました。指導者1年目ですが、過去の自分の経験からサッカーで1番大切な事は闘うことであり、最初は対人メニューを多く行い、勝負にこだわるように声かけをしていきました。県大会までのたくさんの練習試合や招待大会の中で、徹底して攻守で個の部分を意識した闘い方をしていき、どの選手が試合に出ても同じサッカーができるようになってきました。徹底してTORのサッカーを貫いてきたからこそ、県大会優勝という目標を達成できたと思います。
 来年はさらに進化したTORで県大会優勝を目指します。

柏レイソル A.A.TOR'82 檜山 猛

準優勝 長作FC



〈指導者コメント〉

悔しい思いを持ち続けて、サッカーに真剣に向き合う選手たちが増えてきている学年です。
 個の技術の向上と組織的なプレーの融合を毎回の活動で伝え、ピッチ内外において素晴らしい行動が増えております。
 全選手がさらに高い目標に向かって成長できるように、サポートに努めて参ります。

長作FC 兼子 敦貴



第3位 房総ローヴァーズ木更津FC U-10



〈指導者コメント〉

ローヴァーズジュニアは、一人ひとりがボールを持って剥がせるようになることを目標に日々トレーニングに励んでおります。普段の練習では、ドリブル練習や対人練習などを多く取り入れ、試合でもまずは自分で剥がすことを第一に伝えております。

その結果が今大会、ローヴァーズとして初の千葉県3位となり、非常に嬉しく思うと共に、今後の選手達の成長が楽しみです。

房総ローヴァーズ木更津FC 中野 敦志

第3位 Wings U-12



〈指導者コメント〉

型に囚われず、選手個々の特徴や個性を活かす事に重点を置き、1年間活動してまいりました。選手達は、日々真剣に取り組み、しっかりと成長してくれました。

この1年、多くの悔しさを経験し、その想いをチームや個々の強さへと繋げてくれました。

今大会の結果も、選手達の成長へと繋がる素晴らしい糧となり、今後の更なる成長が期待できます。

これからも、自分達に関わる全ての方に感謝の気持ちを忘れず、真摯にサッカーに取り組んでもらえればと思います。

Wings U-12 中山 大介

試合風景



審判団



第1ブロックスタッフ

第6回 千葉県U-12ガールズサッカー選手権大会

第6回ガールズサッカー選手権大会順位トーナメント決勝大会が、11月23日（土・祝）第一カッターフィールドで行われました。大会参加16チームが4ブロック4チームリーグ戦後、上位2チームが順位トーナメントに進み、勝ち上がった4チームが決勝大会に臨みました。

本大会の上位4チームは、2025年1月25日（土）～26日（日）開催のJFAU-12ガールズゲーム関東2024 in 群馬への出場を推薦されました。

今大会運営に尽力されました第4ブロックスタッフの皆様には感謝申し上げます。

優勝 FC千葉ポニータ



〈指導者コメント〉

FC千葉ポニータは、千葉市内のU-12女子選手を対象に活動しています。指導に当たったのコンセプトとしては、まずは「ゴールへ向かうプレーの意識を強く持つ」ことからスタートすることを心がけています。どのポジションであっても、ゴールへ向かうために必要な、「ボールを止める・蹴る・運ぶ」といった基本技術の習得、状況判断を踏まえ周囲との連動性を高められるようなポジショニングの徹底を、トレーニングや試合を通じて指導しています。

FC千葉ポニータ 下田 真

準優勝 市川FCレーベレディース



〈指導者コメント〉

「女子サッカーの指導にあたって」

U12年代の指導に際し願うことは、「子どもたちがサッカーの楽しさにたくさん触れ、サッカーをもっと大好きになって次の年代に進んでくれる」ことです。特に女子サッカーでは、U15に進むと競技人口が減少

するため、いかに次の年代にバトンを繋ぐかが大きな課題です。サッカーの楽しさを「自ら考え判断し実行する成功体験」と捉え、サッカーIQの高い選手の育成を目指します。サッカーの楽しさを知っている選手は、いずれサッカーに帰ってきてくれると信じます。そして、次の世代へバトンをつなぐ役目を担ってくれば、これ以上のことはありません。

市川FCレーベレディース 尾崎 孝志

写真提供：FANTASISTA

3位 かずさフラワーズ



〈指導者コメント〉

チームを立ち上げて、約20年が経過しました。指導のコンセプトの中身の軸は、何も変わっていませんが、やり方・伝え方・求めるものが少し変化しています。



基本コンセプト=サッカーを通して、中学年代に橋渡して、子供たちの良き未来に繋いでいく！を合言葉に、礼節・協調性・主体性・チャレンジスピリッツの4つのコンセプトでサポートしています。以前は、大人の倣り？ 指導=教えるでしたが、現在は、サポートする・環境を整える・経験

の場を作るという側面を重視しています。練習も教えるから⇒出来るようにサポート、良き練習環境を提供、良き練習方法を用意して実践に合致した場を作るに変わっています。他にも細かい事は多々ありますが、サッカーが上手くなるというよりは、サッカーを通して良き人生の足跡を残して欲しいと考えています。

かずさフラワーズ 森本 輝万

4位 FC Yachiyo Girls



〈指導者コメント〉

FC Yachiyo Girls は2012年7月に活動を開始しました。当時は八千代市内に女子選手は少なく4、5年生



の7名の選手でフットサルの大会に参加したのがスタートです。

八千代市では女子選手が各クラブに分散していること、また中学進学に伴いサッカーを辞めてしまう選手が多い現状があることから、FC Yachiyo Girlsは「仲間づくり」をコンセプトとしています。

我々指導者は「仲間づくり」のコンセプトに基づき「仲間づくり」の場を提供する事、環境づくりが使命と考えております。指導面においては「指示」はできるだけ避け、選手の「視線」や「思考・判断」を確かめながらアドバイスできるように努めております。

FC Yachiyo Girls 監督 幸 良平

ブロックだより

BLOCK REP.

第4ブロック

ガールズ選手権大会の会場を高瀬下水処理場上部運動広場と第一カッターフィールドで開催しました。高瀬下水処理場上部運動広場は2016年10月から運用を開始した人工芝のサッカー場、第一カッターフィールドは天然芝で観客スタンドを有する習志野市が誇るサッカー場です。このような環境の中で女子選手が躍動する大会を運営出来ることは主管ブロック冥利に付きます。

今後とも女子選手の技術向上と健全な心身の育成、そして広く女子サッカーの普及振興に寄与出来るよう第4ブロック関係者一同で大会運営を行います。

第4ブロック長 大塚 方美



第4ブロックスタッフ



習志野高校サッカー部

写真提供：FANTASISTA

JFA 第48回全日本U-12 サッカー選手権大会 千葉県大会

JFA 第48回全日本U-12サッカー選手権大会千葉県大会決勝戦が、11月24日（日）白井運動公園陸上競技場にて行われました。大会は9月29日（日）～11月24日（日）の2ヶ月に亘るトーナメント戦で、参加246チームから勝ち上がった8チームによる準々決勝及び準決勝戦が11月17日（日）成東総合運動公園陸上競技場にて行われ、2チームが決勝戦に臨みました。

優勝 柏レイソルU-12



〈指導者コメント〉

柏レイソルアカデミーでは【応援される選手・人の育成】【柏レイソル・代表・世界の軸となり活躍する選手の育成】【サッカー界はもとより、さまざまな社会で活躍し貢献できる人の育成】を目的として活動しています。

今年のチームは個々が躍動した中で攻守において主導権を握り、アグレッシブに闘うことを目指して日々トレーニングに励んでいます。

柏レイソルU-12 張ヶ谷 知樹



1 佐藤 惇太

今大会はトーナメント戦で、どんなことが起きるかわからないので、常にディフェンダーとコミュニケーションを取って、リスク管理を意識してきました。

チームを勝たせられるキーパーとなつて、ピンチがあってもなくても、常に自分の準備をし続けたい。



4 奥村 翔依

試合の入りを意識して、自分達のペースをつくって、スムーズに試合を進められるように意識してきた。

ジュニアユースでは、チームを引っ張って、誰からも信頼される選手になりたい。



10 井出 翼

全国大会に出場できるように、皆でチーム一丸となって全力で戦ってきました。

ジュニアユースでは、チームを勝利に導けるような得点に関与したいです。ドリブルで相手の守備を打開していきたい。



準優勝 ジェフユナイテッド市原・千葉U-12



〈指導者コメント〉
 チームのコンセプトは攻守ともにアグレッシブにプレーすることです。攻撃では積極的に仕掛け、ゴールを目指す。守備面では積極的にボールを奪いに行くことを目指しています。

今年のチームの特徴は、しっかりボールを繋ぐことが出来、前線に攻撃力の高い選手が多く揃っているのと、チーム全体として粘り強く守備することが出来、最後まで諦めずにチームの為に戦える選手が多いです。

また、クラブとしてサッカーだけにとどまらずメンタルトレーニングを定期的に行っています。仲間が持っている力や選手自身が持っている能力、才能を最大限引き出すことを目的にメンタルトレーニングを導入しています。クラブとして様々な取り組みを通じて未来ある子供たちの成長をサポート出来たらと思います。

ジェフユナイテッド市原・千葉U-12 茂垣 将太



5 菊池 叶翔

大会を通して、より攻撃的なゴール前の崩しに力を入れてきました。守備でも粘り強く零にこだわり戦ってきました。将来の夢は、プロサッカー選手になって欧州や南米で活躍し、日本代表になって世界一になりたいです。



16 宇佐美 葵一

今大会では、チーム皆でまとまって一戦一戦勝利にこだわって自分達のサッカーをすることができました。中学生年代になっても、自分の得意なプレーを出し続けてチームに貢献できるようにしたい。

第3位 柏レイソル A.A.TOR'82



〈指導者コメント〉

JFA全日本U-12選手権千葉県大会の優勝を目標にしていたので、3位という結果は選手・スタッフともに悔しい気持ちはありますが、選手達は全員胸を張ってよいと思います。チームとして攻撃も守備も積極的なプレーを心がけ、相手との駆け引きや状況判断も求めながらプレーすることを練習してきました。トーナメント戦で気持ち的に難しい状況の中でも選手たちが試合を楽しみ、気負わず普段通りにすること、普段の練習の成果を出せた部分は多かったと思います。一致団結して最後まで諦めず戦い続ける姿に選手達の成長を感じられました。

柏レイソル A.A.TOR'82 小鹿 将宏



6 森井 咲

チームはシード権のある中で勝ち上がってきた。お互いに声を掛け合って試合に臨むことができた。今回は目標を達成できなかったけれど、中学の大会ではこの悔しさを活かして頑張りたいです。



43 塙 樹希

皆で協力し合って、勝ちを目指して力を合わせてきた。中学校に行っても自分のプレースタイルを磨き、今大会で学んだことを活かしていきたい。

第3位 クラブ・ドラゴンズ柏 U-12



(指導者コメント)

ジュニア年代で当たり前が当たり前でないことを経験した選手たちが、無事に死力を尽くしてプレーできたことに大会関係者の皆様に感謝申し上げます。

この年代が3期生で3回目のチャレンジでしたが、サッカーは点を取られなければ負けないが点を取らなければ勝てないということを知り知られる結果となりました。

ただ選手の取り組み、振る舞いは素晴らしく、ドラゴンズ柏U-12 3期生を誇りに思います。

クラブ・ドラゴンズ柏U-12 稲垣 雄也



20 須藤 涼慧

大きな試合のとき、監督からは日々自分達が積み上げてきたものがあるからと言われてきたので、自信を持って一人ひとりプレーすることを心掛けてきた。

今日の1試合目は攻撃から守備、守備から攻撃が速かったので、チームとしては自慢したい。

センターバックとしてロングボールが蹴ることができ、攻撃の中心にも守備の中心にもなれるので、今後もっと考えながらプレーしていきたい。



21 倭 快斗

チームとしては戦術を立てて、コーチの指示に従いながら、自分達で思いっきりプレーすることを意識して戦ってきた。

オールラウンドプレーヤーとして、チームの支えとなって活躍したいです。これからも厳しい試合の中でも自分達のできることをしっかりやって勝ち抜きたい。

中学校に行っても自分のプレースタイルを磨き、今大会で学んだことを活かしていきたい。

試合風景



審判部

決勝審判員

大会優秀選手

- 藤由 理人 FCラルクヴェール千葉G
- 横山 諒 JSC CHIBA
- 河合 遼真 バディー SC千葉 サックス
- 大橋 拓真 ジェフユナイテッド市原・千葉 コラソン
- 塙 樹希 柏レイソル A.A.TOR'82
- 森井 咲 柏レイソル A.A.TOR'82
- 玉井 太朗 クラブ・ドラゴンズ柏U-12

- 須藤 涼慧 クラブ・ドラゴンズ柏U-12
- 菊池 叶翔 ジェフユナイテッド市原・千葉U-12
- 尊田 凌来 ジェフユナイテッド市原・千葉U-12
- 務臺 翔輝 ジェフユナイテッド市原・千葉U-12
- 宇佐美 葵一 ジェフユナイテッド市原・千葉U-12
- 野手 成史 柏レイソルU-12
- 奥村 翔依 柏レイソルU-12
- 秋元 佑生 柏レイソルU-12
- 井出 翼 柏レイソルU-12